

(2)

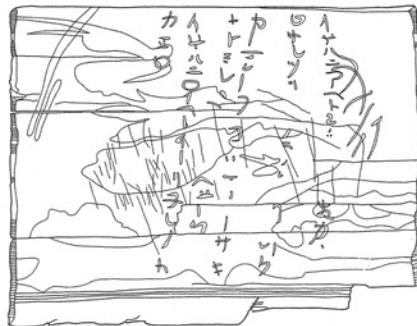


(120) × (24) × 6 081

九州歴史資料館編集

『大宰府政庁跡』の刊行

- 9
(1) は折敷の転用。下辺を刃物で階段状にカットする。
(2) は上端と右側面は原形をとどめ、下端と左側面は折れている。
関係文献
秋田県教育委員会 『盤若台遺跡』（秋田県文化財調査報告書第三一
九集、二〇〇一年）
(宇田川浩二)



(1)



(2)

大宰府は、「大君の遠の朝廷」と謳われる、古代律令制下の外交と交易、西海道諸国支配の重要な拠点である。その中枢部で、菅原道真が「都府樓」と詠んだ政庁の発掘調査報告書が刊行された。

大宰府の発掘調査は一九六八年より永年にわたり、その成果は膨大である。本書は、そうした発掘成果と、最新の成果をあわせて集大成したものである。

遺構や出土遺物の豊富な写真を駆使している。また木簡の再読も行っている。A4判・上製・函入・外箱付・七二二頁（原色図絵八頁・折込九丁・付図一丁）。

なお、発売は吉川弘文館から。価格は一八〇〇〇円（税別）。